

お年賀に持ちて訪ぬる カステラは

今年味はふ 甘き想い出

令和五年一月十五日

大中臣正比呂



イベリア半島にあった、カステイリヤ王国の菓子(Bolo de Castella)は、長崎に伝わった。寛永元年(1624年)に、中国の福州から入ってきた砂糖を使って、

「カステラ」と名付けて、この菓子を作り、「福砂屋」の屋号で創業したのが始まりである。その後、明治三十三年(1900年)にも、長崎の丸山町で中川安五郎が「文明堂」という屋号で創業し、この双壁屋号のカステラ店は今日、全国にある。

ボーロ(bolo)は、菓子(ケーキ)のことで、カステラとは違う焼き菓子の、丸いものを「丸ボーロ」と言い、佐賀の銘菓である。カステラも丸ボーロも主材料は変わらない。いずれも、十七世紀中期から焼かれた始めた菓子女である。

当時の店々は、肥前国(長崎、佐賀県)のシュガーロード沿いにあった。